

実需給2年度前の業務の状況報告について (対象実需給年度：2024年度)

2022年9月30日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

- 2020年度メインオークションで容量確保契約を締結した電源等は、**2024年度の実需給期間に向けて、実需給の2年度前にあたる2022年度**において、以下業務を行うこととしている。
 - ▶ **容量停止計画の調整**（対象：安定電源、変動電源（単独））
 - ▶ **実効性テスト**（対象：発動指令電源）
- 本日は、2022年度に関係者で進めていく上記2つの業務について、現在の対応状況の報告を行う。

- 1. 容量停止計画の調整**
2. 実効性テスト

1. 容量停止計画の調整業務の実施状況について

(1) はじめに

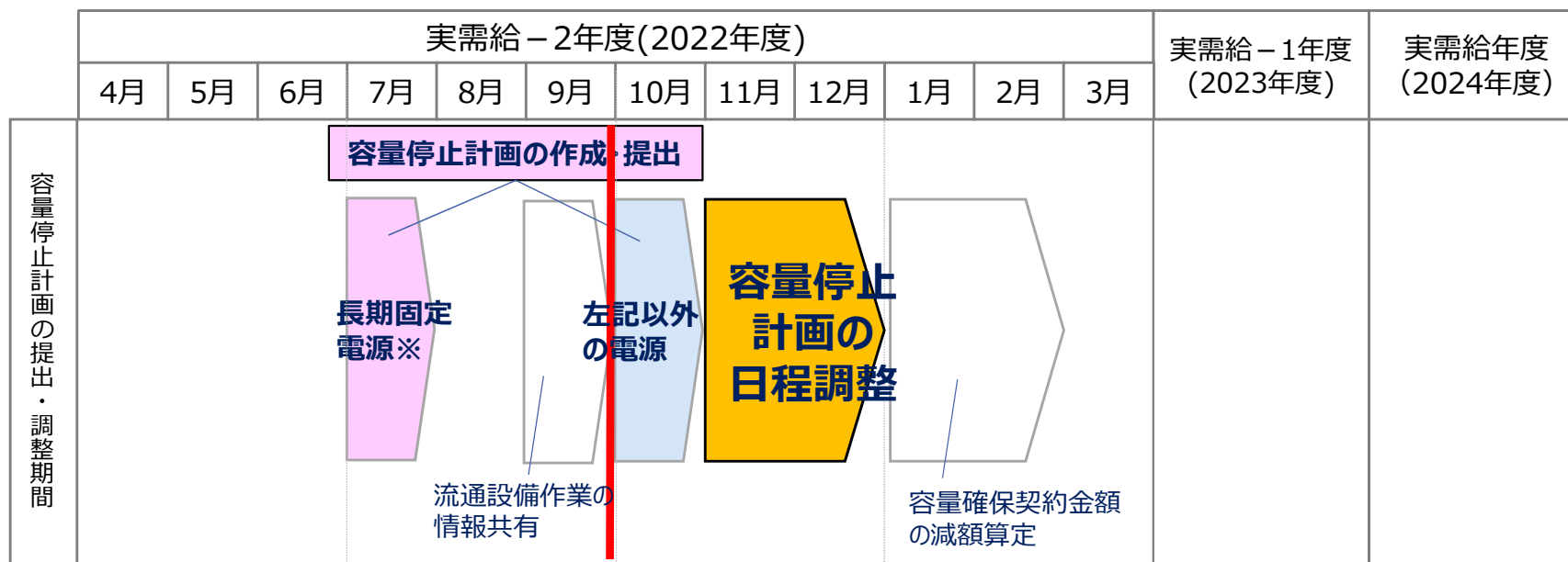
- 2020年度メインオークションで容量確保契約を締結した**安定電源と変動電源（単独）**は、**実需給期間前のリクワイアメント**として、実需給の**2年度前にあたる2022年度に、容量停止計画の調整業務を行う**こととしている。
- 容量停止計画の調整業務は、対象となる電源が**定期補修等で出力を停止または抑制する時期を**実需給の2年度前に調整****することで、各エリア・各月の供給信頼度を確保するものとなる。
- 本日は、本業務の実施状況と、今後の調整業務のスケジュールについて報告する。

1. 容量停止計画の調整業務の実施状況について

(2) スケジュールの概要

- **今年度の容量停止計画の調整業務**は、2022年7月に長期固定電源の容量停止計画の提出※が行われたところ。 ※応札電源単位で545件提出
- このあと、2022年10月に長期固定電源以外の電源より容量停止計画の提出が予定されている。**容量停止計画の提出データ**をもとに**2022年11月より容量停止計画の日程調整が開始**される。
- 容量停止計画の**日程調整を行う期間は、2022年11～12月**を予定している。
 - 容量停止計画の提出 …… 容量停止計画の作成、提出 (7月、10月)
 - 容量停止計画の調整 …… 容量停止計画の日程調整 (11月～12月)

【容量停止計画の調整業務の全体スケジュール】



※流通設備作業に同調を求める電源

- 容量停止計画の**日程調整は、各STEPに分けて**行われる。
- **各STEPでは、調整を可能とする条件**を設けて、条件に沿って容量停止計画が変更される。
- 対象となる電源は、本機関が提示する全体の情報をもとに各STEPで日程調整を行い、**一定の設定期間の中で容量停止計画を確定**させていく。
 - STEP1 … 2022年11月01日～2022年11月11日 (条件：全電源が計画変更可能)
 - STEP2 … 2022年11月14日～2022年12月02日 (条件：供給信頼度に影響を与える月への計画変更不可)
 - STEP3 … 2022年12月05日～2022年12月23日 (条件：原則、調整不調電源が計画変更可能)
 - STEP4 … 2022年12月26日～2022年12月28日 (供給信頼度に影響を与える状況が解消されない場合のみ実施)



<調整作業のイメージ>

調整対象電源数

容量停止計画を徐々に**確定**させていく



- 各事業者が行う容量停止計画の日程調整にあたっては、適宜、**容量市場システムや広域機関HP**において**算定結果（EUE評価にもとづく算定結果）等の情報を提供**する。
- 提供する情報の更新は、11～12月の設定された**調整期間中、毎営業日に最新情報を提供**することを予定している（容量停止計画を反映したEUE評価にもとづく算定結果を情報提供）。
- 各事業者は、この**提供情報を参考としながら、容量停止計画の日程の調整**を行っていくことを想定している。

<提示情報イメージ>

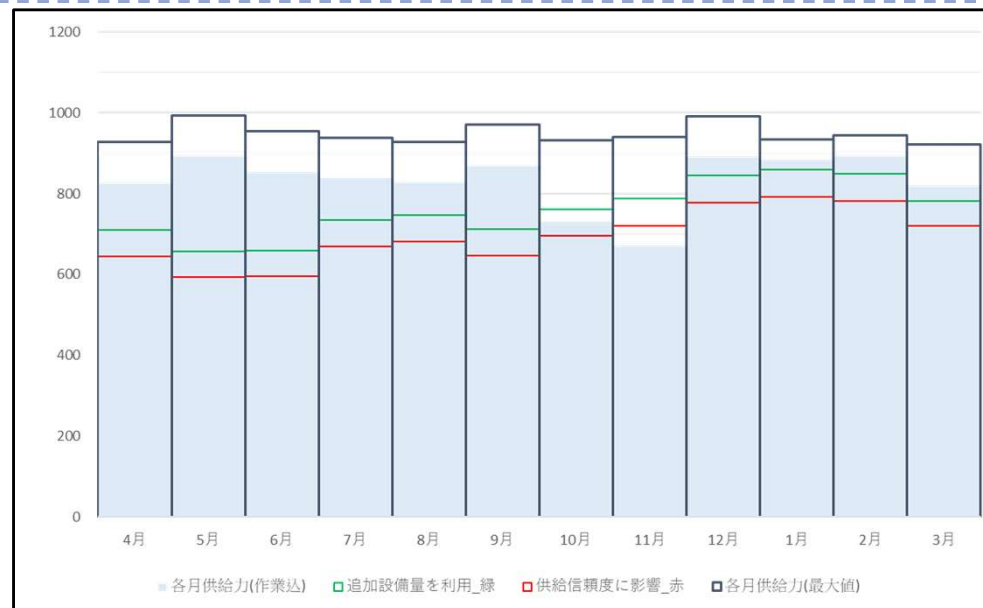
調整が必要なエリア・時期の情報

- ・エリア、月毎の作業停止可能量
- ・エリア、月毎の作業停止量
- ・EUE算定結果（供給信頼度算定結果）

減額率の試算に必要な情報

- ・エリア、月毎の作業停止量
- ・エリア、月毎の供給信頼度確保に影響を与える基準
- ・エリア、月毎の追加設備量を利用している基準

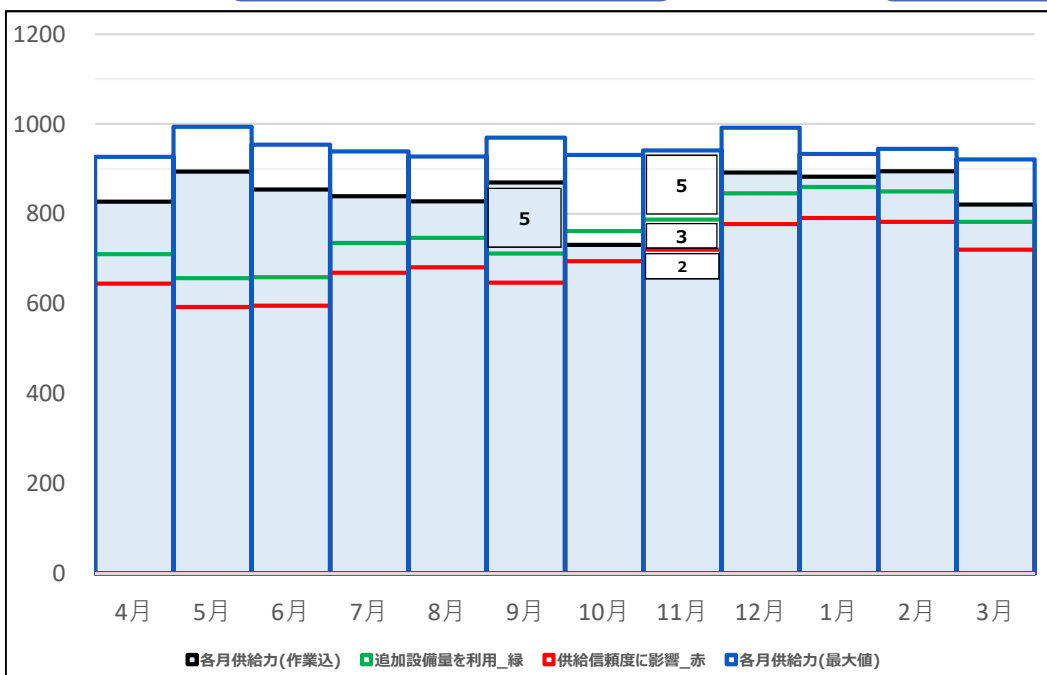
エリア	4月			5月			...	3月		
	作業停止可能量	作業停止量	EUE	作業停止可能量	作業停止量	EUE		作業停止可能量	作業停止量	EUE
A	130万～150万kW	50万kW	0.001	150万～200万kW	180万kW	0.001	...	150万～200万kW	50万kW	0.002
B	50万～60万kW	80万kW	0.001	70万～100万kW	60万kW	0.002	...	70万～100万kW	40万kW	0.008
C	20万～50万kW	10万kW	0.002	50万～70万kW	50万kW	0.01	...	50万～70万kW	100万kW	0.008
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
D	30万～40万kW	45万kW	0.0062	40万～50万kW	50万kW	0.0059	...	40万～50万kW	10万kW	0.006



<掲載場所>

<https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2024/index.html>

- 本機関が公表する供給信頼度の確保状況を参考に、事業者は各エリア・月の容量停止計画を変更していく。
- 調整期間中、供給信頼度に影響を与える状況の解消を目指して作業を繰り返していく。



- 各エリア・時期の供給信頼度の確保状況を確認
- 追加設備量を利用、供給信頼度に影響を与える箇所がある場合、内容を確認
11月の作業停止量10万kWの内訳を確認 ※値はグラフとあわせて提供予定
 - ・緑線までの作業可能量が5万kW
 - ・緑線から赤線までの作業可能量が3万kW
 - ・赤線を超える作業量が2万kW
- 作業停止の計画変更を検討する
11月の追加設備量を利用、供給信頼度に影響を与える作業分5万kWを、余裕のある月（例えば9月）に行うよう計画を変更

- 容量停止計画は年月日単位で停止計画を提出することとしている。
- 本機関から公表する調整状況に関する情報発信は毎営業日での更新※を予定している。容量停止計画の調整作業もこの公表情報を参考に、日々行っていくこととなる。

※当該詳細は別途WEBページでお知らせする(<https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2024/index.html>)



<各事業者の容量停止計画のイメージ>

- ・実需給年度 2024
- ・電源等の名称 A発電所
- ・作業開始年月日 20240401
- ・作業終了年月日 20240515
- ・出力可能量 0

公表情報を参考としながら、
停止計画の日程変更を
日単位で検討していく

1. 容量停止計画の調整業務の実施状況について

(3) 容量確保契約金額の減額の確認

- 容量停止計画の調整期間の終了後、調整不調電源の確認と容量確保契約金額の減額の確定手続が行われる（**調整不調電源の該当有無は容量市場システムにて確認**を行う）
- 調整不調電源に該当する場合、調整不調となる理由の審査を経て、実需給2年度前の2023年2月末日を目処として、容量確保契約金額の減額があった場合はその金額が確定される。

<算定の確認等の手順>

項目	日程
①調整不調電源の確認	容量停止計画の調整終了後
②容量停止計画の調整に応じることができない理由の報告	2023年1月31日（火）までに提出
③やむを得ない理由の審査結果の受領	2023年2月14日（火）までに受領
④審査結果への異議申立	③の審査結果受領後5営業日以内
⑤最終的な判断結果の確認	2023年2月28日（火）

<容量市場システムでの確認イメージ>

容量市場システム

電源等情報詳細画面

TOP > 参加登録 > 電源等情報管理 > 電源等情報一覧画面 > 電源等情報詳細画面

実需給年度	2044
事業者コード	7103
参加登録申請者名	事業者C
電源等識別番号	0000010110
電源等の名称	事業者000_安定1
受電地点特定番号	1234567890123456789011
系統コード	20031
エリア名	中部
同時最大受電電力[kW]	110,000
経過措置係数[%]	58.00
余力活用契約締結	無
調整不調電源情報	
日数	30.0000
減額率[%]	6.0000
広域機関判断結果	

<確認項目>

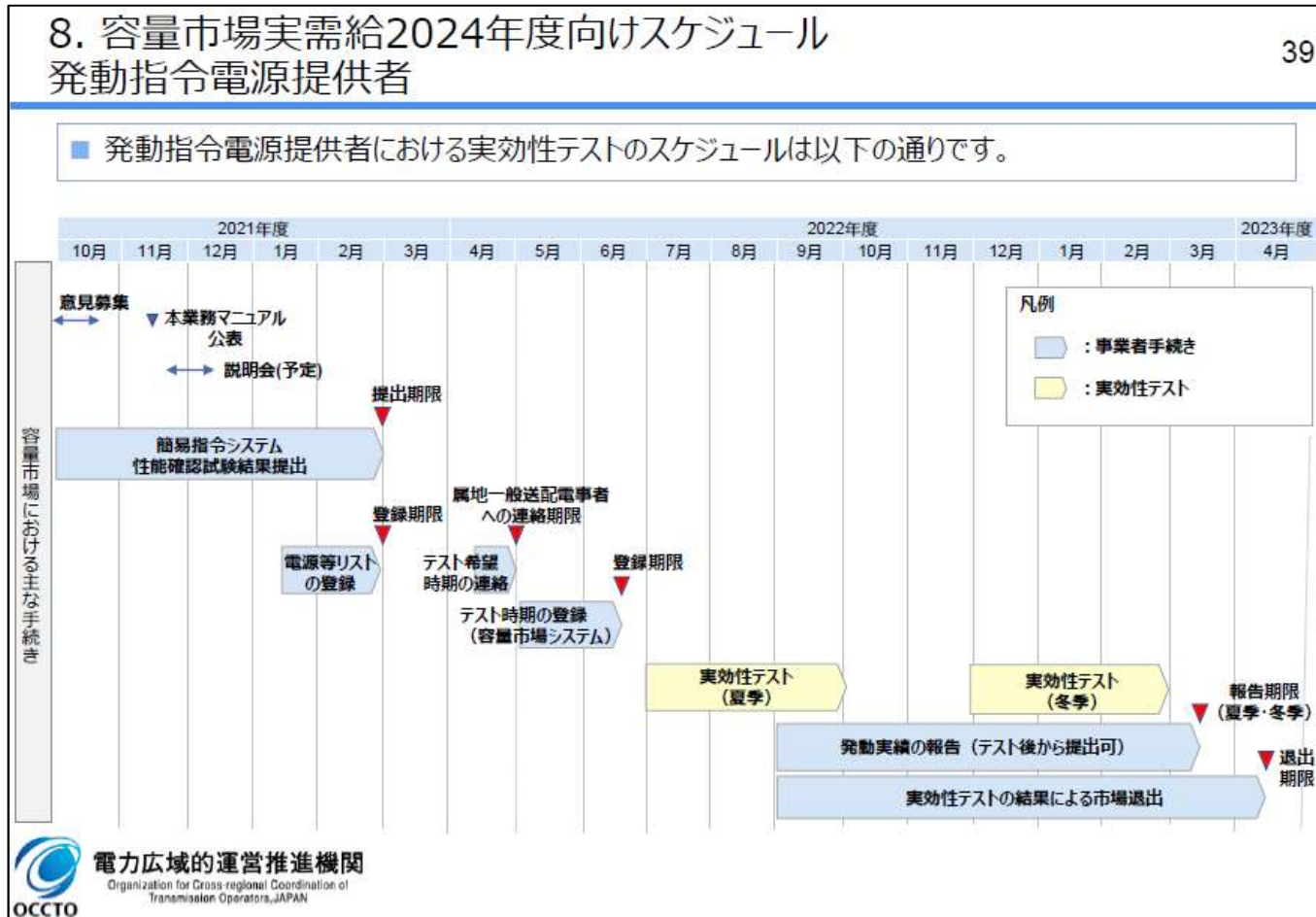
- ・対象日数
- ・減額率

1. 容量停止計画の調整
2. 実効性テスト

2. 実効性テストの実施状況について

(1) 実効性テストの概要

- 実効性テストは、発動指令電源のリクワイアメントとして容量確保契約容量以上の供給力が提供できることを確認するために行われるものとなる。
- 発動指令電源は、実効性テストの開始にあたり電源等リストを提出し、夏季や冬季に行われる実効性テストを行う（事業者が夏季や冬季の実施時期を選択）。
- 実効性テスト終了後、発動指令時の供給力提供実績にもとづき期待容量の変更を行う。



実効性テスト
マニュアル説明
会資料より

2. 実効性テストの実施状況について

(2) 2022年度の実施状況

- 実効性テストの実施時期は夏季と冬季の選択を可能としており、現時点（9/14時点）の状況では、**2022年度の「実効性テストの実施希望時期」の設定は、夏季297万kW、冬季104万kWの登録**が行われている。
- これは、2020年度メインオークションの発動指令電源の落札容量（415万kW）と比較すると、**落札容量比で97%分の登録**※を行っている状況となる。
- なお、現在2022年度の夏季の実効性テストが開始されたところとなり、発動指令電源の事業者は、**このあとの冬季の実効性テストも行いながら、今回の実績を確定**し、テスト実施結果を提出することとなっている。
- 実効性テストに関しては、今回**初めて取り組む業務**であり、適宜状況報告を行っていく。

※割合を示すための参考数値。市場退出等があるため、必ずしも合計は100%とはならない。

発動指令電源落札容量	実効性テスト実施希望時期の設定（9/14時点）	
	夏季	冬季
415万kW	297万kW	104万kW